

| | |
|--|----------------------|
|  <h1>宗岡二小だより</h1> <p>学校教育目標</p> <p>○よく考える子 ○やさしい子 ○たくましい子</p> | 志木市立宗岡第二小学校 |
| | 令和4年度 No.8 |
| | 令和4年12月1日 |
| | 志木市上宗岡3丁目13番1号 |
| | TEL 048 - 473 - 2305 |
| | 児童数12月1日現在390名 |



人権週間に際し思うこと

可知良之

先日の学校公開日の日、埼玉新聞の1面トップ記事に「小中の不登校24万人」という記事を目にしました。コロナの影響で意欲が低下しているとの見方をしていますが、1年前の調査よりも4万8813人も増加している事実を心で痛めています。なぜ、不登校は増え続けているのでしょうか。私は子どもの人権が守られていないことが原因ではないかと考えています。

不登校の定義は文部科学省によると「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくてもできない状況にあること」とされています。かつては登校拒否と呼ばれていましたが拒否というと本人が悪いような言い方に聞こえてしまいます。不登校とは登校したい気持ちはあるものの心や体が学校に向かなくなってしまう状態なのです。学校に行くことを考えるだけで頭やお腹が痛くなったり心臓の鼓動が速くなったり、中には校門が見えるところまでは大丈夫なのに門が見えた瞬間に足が一步も動かなくなってしまう適応障害を起こす子もいます。理由も分からないことが多く、病院に行っても原因不明で帰されてしまうようです。中学校での不登校の理由で多いのは学習が面白くない（勉強が分からなくて授業についてこられない）ことだそうです。小学校の時には普通にできていたのに、中学の勉強では学習方法を変えていかないと対応できないことがあります。

す。始めは小さなきっかけかもしれませんが1日学校を休んで、その間に進んでしまった内容が理解できず分からなくなってしまふことはよくあります。

「学校がつまらない」こんなことが不登校の原因となることもあります。友達との交流が全くできなかったコロナ禍では、特別な活動である行事（特別活動という教育課程に位置付けられた学習の一つ）ができなくなりました。今でも大きく制限がかかっています。特別活動は学校生活に彩を与える特別な学習です。この学習でしか味わえない楽しさがたくさんあります。グループでの活動など友達との交流を通して学ぶことは子どもたちにとっては基本的な権利だと思います。コロナ禍で交流がなくなってしまったことで、友達との距離の取り方が分からなくなってしまった子も多くいます。いじめるつもりなど毛頭ないのだけれど意地の悪い行動をしてしまうことがあります。これは、大人の世界でも同様です。学校の中では友だちと和気あいあいと活動することが楽しいのだと子どもたちを見ていて思います。今、その環境になくなってしまった子どもたちが24万人もいるのではないかと思います。

子どもたちが安全で楽しく学校で過ごす権利（人権）を私たち大人はもっと考えなければいけないのではないのでしょうか。

12月4日から人権週間です。子どもたちの人権について皆で考えてみませんか。